



# 体育学



## アドミッション・ポリシー

- 【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】**  
文系・理系に偏ることのない基礎学力を身に付けている学生  
また、自分の得意分野の実技能力を身に付けている学生、あるいは、スポーツ、武道、体育及び健康づくりの未来を切り拓く力がある学生
- 【自己表現ができる学生】**  
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ、武道、体育及び健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
- 【新たな課題に挑む意欲のある学生】**  
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

## カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

## ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

## 教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目(学期毎に単位が取れる科目)として設定しています。ただし、一部の科目について、通年科目(1年間履修して単位がとれる科目)となっています。

	1年	2年	3年	4年
一般科目	コミュニケーション科目			
	社会・文化・自然科目			
	総合科目			
キャリア形成科目	キャリアデザイン科目			
専門科目	基礎科目A(人文・社会・自然系)			
	基礎科目B(指導・普及系)			
	応用科目			
	実験演習科目			
	関連実技科目			
	ゼミナール(卒業研究)			
専攻科目	専修科目			
	指導実践科目			
教職科目	教職			
	専門			

- コミュニケーション科目：国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
- 社会・文化・自然科目：社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
- 総合科目：社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現力や討論力を身につける科目
- キャリアデザイン科目：スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
- 基礎科目A(人文・社会・自然系)：体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
- 基礎科目B(指導・普及系)：スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導・普及のための基礎的な内容を理解する科目
- 応用科目：国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
- 実験演習科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現力を身につける科目
- 関連実技科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
- ゼミナール(卒業研究)：スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
- 専修科目(アスリート・コーチング系/生涯スポーツ系/武道系)：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
- 指導実践科目(アスリート・コーチング系/生涯スポーツ系/武道系)：専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
- 教職：中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
- 専門：中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門(教科)に関する科目

また、授業科目は下表のように、履修(選択)の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区分	科目区分の特徴(ねらい)
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

所定科目の修得等の  
諸要件を満たした場合に  
次の資格の受験資格や  
免許を得ることができます。

### 免許

- 教育職員免許状
- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
  - 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

### 受験資格が得られる資格

- (公財)日本スポーツ協会
- スポーツコーチングリーダー(スポーツ指導者基礎資格)
  - ジュニアスポーツ指導員 ●スポーツプログラマー
  - アシスタントマネージャー
- (公財)日本スポーツ協会と加盟競技団体等
- コーチ1、コーチ3(競技別) ●教師(競技別)
- (公財)日本レクリエーション協会
- レクリエーション・コーディネーター
- (公財)健康・体づくり事業財団
- 健康運動実践指導者 ●健康運動指導士

## 授業時間

### 1: 学期と授業時間割

学年を前期(4月1日~9月30日)と後期(10月1日~3月31日)に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週(試験を課す場合は16週)にわたって行います。  
授業は、下表のとおり行います。集中講義や学外授業などを行うことがあります。

- 前期：4月1日~9月30日
- 後期：10月1日~3月31日

	開始	終了
第1時限(90分)	8:30	10:00
第2時限(90分)	10:10	11:40
第3時限(90分)	12:40	14:10
第4時限(90分)	14:20	15:50
第5時限(90分)	16:00	17:30

### 2: 休業日

休業日(授業を行わない日)は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ① 週休日(土曜日・日曜日)及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ② 開学記念日(10月1日)
- ③ 夏期休業日(8月5日~9月30日)  
冬期休業日(12月26日~1月7日)  
春期休業日(3月11日~3月31日)
- ④ その他大学が定めた日  
注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります(集中講義等)。

### 3: 授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。  
※情報活用能力の育成等のため、ノートPC、タブレット等の情報機器を必携としております。

### 取得可能な資格

- 子どもの運動プログラムの指導員(本学独自)
- Exseed指導員
- (公財)日本レクリエーション協会
- レクリエーション・インストラクター

### 学内受験可能な資格

- (一社)日本イベント産業振興協会
- イベント検定



# スポーツ 総合課程

## スポーツ 総合課程の 目標

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたりーダーの育成を目標とします。

## 専攻系の 紹介

### アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

### 生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネーターやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。

スポーツ総合課程3年

在学生からのメッセージ

# 関心春

SEKI Koharu

### Q1:なぜ鹿屋体育大学に?

恵まれた環境の中で、トップレベルの指導者や選手とともに専門種目であるバスケットボールに取り組みたいと考えたからです。また、競技力の向上だけでなく、スポーツを多角的に学ぶことで将来の夢や進路の選択肢を広げたいと思い、志望しました。

### Q2:今頑張っていること、目標は?

課外活動・学業・探究活動の両立に力を入れています。女子バスケットボール部ではマネージャーとして、チームのために日々全力で活動しています。チームに欠かせない存在として信頼される、敏腕マネージャーになることが目標です。

### Q3:好きな授業はなんですか?

「スポーツマネジメント概論」という授業です。この授業では、スポーツが組織や社会にどのような影響を与え、成長・変化していくのかを学ぶことができます。授業で学んだ内容を日々の課外活動に生かすことができ、スポーツマネジメントの面白さを知るきっかけとなりました。

### Q4:鹿屋体育大を目指す人に一言!

スポーツは「する」だけではなく、「ささえる」という立場だからこそ得られる学びや発見が多くあります。競技者だけでなく、支える立場としてスポーツに関わりたい人にも、鹿屋体育大学は多くの学びと成長の機会を与えてくれる大学です。ぜひ一緒に、スポーツの可能性を広げる学びを深めていきましょう。

私の時間割<2年前期>

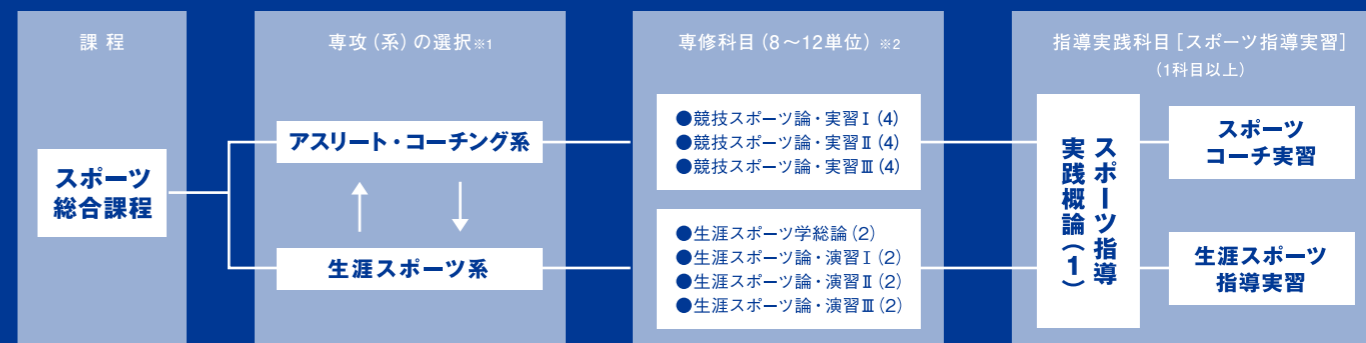
	月	火	水	木	金
1限			保健体育科 教育法Ⅰ	武道史	
2限	海洋スポーツ	スポーツ マネジメント概論	スポーツ 社会学	運動生化学	生涯 スポーツ学総論
3限	海洋スポーツ	スポーツ 国際開発論	教育法・ 教育行政		救急処置論・ 実習
4限	教育心理学		スポーツメンタル トレーニング論		競技スポーツ論・ 実習Ⅱ バスケットボール
5限					競技スポーツ論・ 実習Ⅱ バスケットボール
集中講義: スポーツ文化論					

■一般選抜 ■出身校: 広島県立広島高等学校



## 専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。※2) 各系の必修科目を示しています。(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。( )内は単位数





武道課程3年

在学生からのメッセージ

# 中島 千波

NAKASHIMA Chinami

## Q1:なぜ鹿屋体育大学に？

日本で唯一の国立体育大学であり、スポーツを行う上での競技環境が充実していることを知ったからです。また、他の大学では少ない「武道課程」が設置されており、今まで取り組んできた武道についての知識を得たいと思い、志望しました。

## Q2:今頑張っていること、目標は？

教員免許状を得るための科目を中心に、勉学を頑張っています。4年生では教育実習もあるので、それに向けた準備にも取り組んでいます。課外活動では、柔道で全国で戦う選手と組んだ時に自分の筋力が全然足りないと感じたことから、積極的にトレーニングも行っています。

## Q3:好きな授業はなんですか？

トレーニング科学概論です。この授業ではトレーニング理論の基礎となっている概念や知識について学ぶことができ、目的に合った適切なトレーニングを行うために必要となる研究に基づいた科学的な知識を得ることができます。

## Q4:鹿屋体育大を目指す人に一言！

充実したスポーツ施設、おいしい空気の中で競技をしたいという人には最適な大学です。ぜひ鹿屋体育大学で、一緒に学びましょう。



### 私の時間割<2年後期>

	月	火	水	木	金
1限			保健体育科 教育法Ⅱ		トレーニング 科学概論
2限	教育の方法と 技術/教育と ICT活用	スポーツ栄養学		スポーツ 産業論	
3限			学校保健		衛生学・ 公衆衛生学
4限	教育課程論	情報処理B	運動学概論	弓道	専修武道論・ 実習Ⅱ 柔道
5限					専修武道論・ 実習Ⅱ 柔道
集中講義: 歴史学					

■学校推薦型選抜 ■出身校: 島根県立平田高等学校

# 武道課程

## 武道課程の 目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

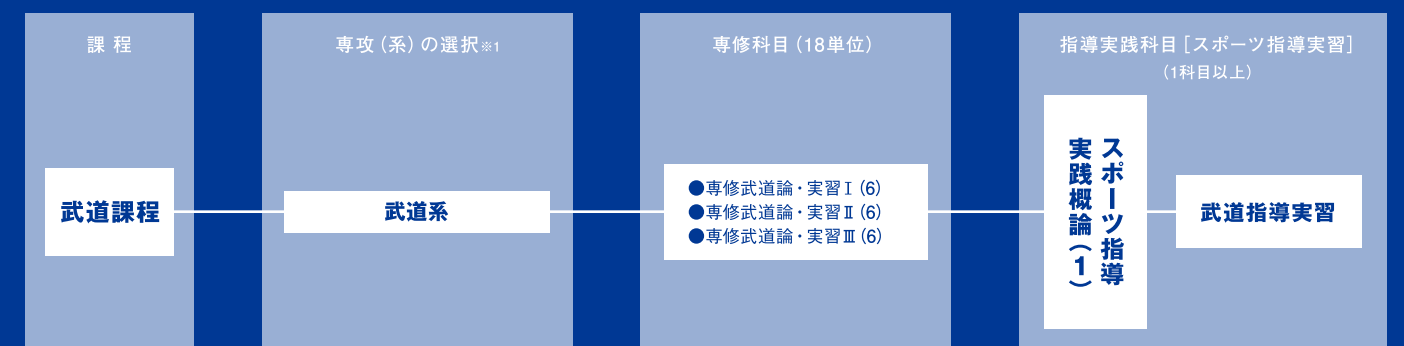
## 専攻系の 紹介

### 武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース

## 専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。  
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。( )内は単位数



在学生(編入学生)からのメッセージ

スポーツ総合課程4年

# 篠原 湧大

SHINOHARA Yuta

# NIFS GALLERY



## Pick up | 注目授業

### □ バイオメカニクス 宮崎 輝光講師 (スポーツ生命科学系)

バイオメカニクスは、身体の動く仕組みを力学的にアプローチする学問であり、身体運動の力学的機序の解明やパフォーマンスの評価など、幅広く応用されています。本授業では、走・跳・投といったスポーツ動作において、身体運動の力学的機序を理解するための基礎的な知識を習得することができます。また、三次元動作測定の実験方法も紹介し、卒業研究でバイオメカニクス研究を推進するための基盤となる知識も学ぶことができます。



### Q1: なぜ鹿屋体育大に?

専門学校在学中、就職やスポーツチームへのインターンなど多様な選択肢がある中で、自身のトレーナーとしての背景と知的好奇心の両方を追求できる環境に魅力を感じ、鹿屋体育大を選びました。スポーツが盛んに行われているだけでなく、研究環境や学ぶ環境が日本で随一である点に大きな魅力を感じています。

### Q2: 今頑張っていること、目標は?

現在特に力を入れていることは英語学習です。入学後、海外の大学院へ進学したいという思いが強くなり、その準備として英語力向上に注力しています。卒業後の目標は、海外の大学院で自分の興味のある学問の知識を深めることです。その先の目標は未定ですが、5年後、10年後とその時の自分が過去を振り返ったときに自信を持てるような選択と行動を積み重ねていきたいです。

### Q3: 好きな授業はなんですか?

特に好きな授業は海洋スポーツで、実際に体験しながら学べる点は、充実した施設を持つ鹿屋体育大ならではの魅力を感じています。

### Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言!

鹿屋体育大は、スポーツに打ち込む人にとっても、学問を究めたい人にとっても、やる気次第で大きく飛躍できる環境が整っている大学だと思います。入学後は共に切磋琢磨し、それぞれの目標に向かって一緒に頑張っていきたいです!

### 私の時間割<3年前期>

	月	火	水	木	金
1限	総合英語Ⅲ		体育学概論		バイオメカニクス
2限	海洋スポーツ	バレーボール	アスレチックトレーナー論	運動生化学	情報処理A
3限	海洋スポーツ	身体科学論	スポーツ医学		
4限			スポーツメンタルトレーニング論		競技スポーツ論・実習Ⅱ サッカー
5限					競技スポーツ論・実習Ⅱ サッカー

集中講義:ゼミナールⅡ

- 第3年次編入学
- 出身校:香川県立高松南高等学校 履正社国際医療スポーツ専門学校・大阪府



### □ 関連実技 海洋スポーツ 榮楽 洋光講師 (スポーツ・武道実践科学系)

海洋スポーツ(関連実技)では、自分で海洋スポーツを安全に楽しく継続して楽しめるようになることを目標に、ヨットやカヌーを中心とした基本技術を身に付けます。併せて、安全に活動するための海の基礎知識や状況を適切に判断する力を学び、仲間と協力して活動する能力も養います。さらに、道具の準備や水洗い、使用後の片付けや収納まで、責任を持って自分でできる力を身に付けます。

## ゼミナール Seminar

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3,4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

### スポーツ・武道実践科学系 山口大貴ゼミ | 「自分を実験台」に。理論と実践で競技を極める

自転車競技をはじめとする競技スポーツを題材に、「競技力向上」と「運動技能の習得・改善」を目指した実践研究を行っています。指導方針は「競技現場で感じる興味や関心を言葉にし、研究として深めて現場に還元すること」です。ゼミ生の主な研究テーマは、ペダリング技能の評価と改善、レース中の戦術判断の獲得過程の記述、タイムと体力測定値との関係性等です。それぞれのテーマについて、ゼミ生同士で活発な意見交換を行い、理解を深めています。選手自身が、「自分を実験台に研究する」経験を通して、競技を客観的に捉える視点を養うことで、将来、専門競技の現場を牽引できる人材の育成を目指しています。



梅澤 幹太さん UMEZAWA Kanta

- 総合型選抜(SS)入試
- 出身校:愛媛県立松山工業高等学校

将来の目標は、オリンピックでのメダル獲得です。その目標に向けて自身の専門競技である自転車競技を理論と実践の両面から探究できる点に魅力を感じ、このゼミを選択しました。2年次から「早期ゼミ制度」を活用し、現在は「オムニアム種目における逃げの判断と運動意識の獲得プロセス」をテーマに、研究と競技を並行して取り組んでいます。ゼミで培った思考の言語化や分析力を競技力向上に生かし、研究と実践の両立を通して、将来は世界の舞台で戦える競技者を目指していきたいと考えています。



### スポーツ生命科学系 古瀬 裕次郎ゼミ | すべての「健康」に目を向ける



皆さんの周りには、テレビやSNS など、さまざまな「健康」情報が飛び込んできます。しかし、その中には本当かどうか判別しにくいものもたくさんあります。公衆衛生学は、「公衆(みんな)」の「健康を衛(まも)る」ための学問です。扱うテーマは幅広く、身近な疑問を調べたい人から、地球温暖化への対策、さらには運動による認知症予防に挑戦したい人まで、さまざまな学生が集まっています。健康に関わるあらゆることを研究対象とし、本学でも屈指の幅広いテーマをカバーできる公衆衛生学ゼミの扉は、いつでも皆さんに開かれています。

### 齋藤 瑠己さん SAITO Rui

- 一般選抜
- 出身校:静岡県立清水東高等学校

古瀬先生の担当している公衆衛生学の授業を受講した際、わかりやすく、面白くてこのゼミで学びたいと思い、直感でこのゼミを希望しました。ゼミメンバーはほとんど違う課外活動ですが、毎回楽しく活動できています。研究内容としては、自分たちが興味を持った身近に関する事の実験等を行っています。その過程で、エクセルの使い方を学び、原稿を作ったり、発表会を行ったりしています。発表の際には、先生や周りからアドバイスをもらい、卒論や社会に出た際に、よりよい発表ができるようにしています。また、ボランティア活動などを行い、高齢者や地域の方々とも関わる機会があり、指導の実践経験を通じて、社会で役立つさまざまな知識や能力を身に付けることができます。



### スポーツ人文・応用社会科学系 幾留沙智ゼミ | 実力の向上・発揮に関わる心理的側面を探求したい

スポーツ心理学を発展させることを目指して、研究活動を行っています。スポーツに関わる中で芽生えた「疑問」について、膨大な先行研究に基づきながら仮説を考え、収集したデータから仮説を検証します。まだ誰も答えを知らない疑問に答えを出すのはとても大変です。だからこそ、スポーツ心理学を発展させる研究になるのだと思います。「私はメンタルが弱い」。ゼミに入る多くの方が当初はこのセリフを言いますが、最終的には、自信、やる気、感情、言葉かけ、イメージなど、全く異なる研究に辿り着きます。実力向上や発揮には実に多種多様な心理的側面が関わっていることを表しています。



瀬津 菜々美さん SETSU Nanami

- 学校推薦型選抜
- 出身校:九州学院高等学校・熊本県

スポーツや運動の中で感じる緊張や不安、やる気などのメンタルについて学んでいます。ゼミのメンバーは所属している課外活動もさまざまで、それぞれの経験をもとに「なぜうまくいかないのか」「どうすれば力を発揮できるのか」といった疑問を出し合い、先行研究を読んだり話し合ったりしながら考えを深めています。個性豊かな人が多く、毎回の話し合いで新しい視点に出合える、落ち着いた雰囲気のあるゼミです。

